

キャラクター名  
今影 大河 (イマカゲ オオカ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	UGN	エージェントC	カヴァー	
	オプション		年齢	16		性別	女性
覚醒	憤怒	衝動	吸血		初期侵食率	49 %	
出自	戦災孤児	経験	記憶喪失		邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	87
肉体	4		0	1	10	15	行動値	37
感覚	1		0		10	11	(非装備時)	39
精神	1	1	0		10	12	戦闘移動	44
社会	2		0		10	12	全力移動	88

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	14		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	6	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:ヒーロー	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツツカ=ブラック	白兵	15r+10	5	12		侵食率を+20することでの攻撃判定のクリティカル値を-2 (下限4) する。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
リアクティブアーマー				-2	シナリオ1回、だめー2D

所持品	
マテリアル: 適合者	
マテリアル: 心臓	
ツツカ=ブラック	
ウェポンケース	
デモンズシード	
思い出の一品	
リアクティブアーマー	
ヒーローズクロス	
携帯	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
戦闘用人格	P	N		
野獣本能	P	N		
絹川	P 庇護	N 恐怖		
遠藤	P 友情	N 恥辱		
スライム	P 慈愛	N 憤懣		
	P 連帯感	N 食傷		
	P 懐旧	N 不信感		

最大財産P: 26    残り財産P: 65

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ブラックマーケット	3	*2	常時					
効果: 財産点+Lv×10								
巨人の生命	5	*3	常時					
効果: HP +Lv×5								
ワイルドグロース	2	3	セット					リミット/獣化
効果: セットアップで完全獣化できる								
進化の末脚	3	2	セット					獣化
効果: 行動値+Lv×3								
進化の大爪	3	2	セット					獣化
効果: 攻撃力Lv×3								
完全獣化	3	6	マイナー					
効果: 肉体のダイス+Lv+2								
ハンティングスタイル	3	1	マイナー					
効果: 移動エフェクト								
知性ある獣	1	2	マイナー					
効果: 武器攻撃ができる								
獅子奮迅	3	4	メジャー					
効果: 範囲選択								
吠え猛る爪	4	2	メジャー					
効果: 装甲無視攻撃力 (5-Lv)								
コンセ: ハヌ	2	2	メジャー					
効果: C値-Lv								
援護の風	5	2	オート					
効果: ダイス+Lv								
ウィンドプレス	4	4	オート					
効果: 達成値+Lv×3								

一人称: 私  
二人称: あなた, ○○君, ○○さん  
好きなモノ: 肉、夜、お風呂  
嫌いなモノ: 敵意がある奴、襲ってくる奴  
性格: 普段はおとなしい、人見知りするがそこまで引きこもってるとかはない、懐っこくはある、  
戦闘用: 過去にあった記憶を覚えてる人格、自分が生きるために敵を殺すことを厭わない  
容姿: 茶髪ロング、赤目でスラッとしてる

小さい頃から活躍してるヒーロー  
町の施設で育ち、今は独り暮らしをしている。  
子供の時に家族を殺された事があり、それが原因で性格が二つになる。  
片方はそれまでの記憶がなく、ヒーローとしての活躍や生活、学校にいったりする普通の人格、少し怖がりな所もあるけど、基本人懐っこい  
親の記憶は臆気で、何処に居るかわからないけど施設に預けられていたのは、やむを得ない事なのだと思う  
もうひとつは、それまでの記憶がある戦闘用の人格、目の前で壊された日常が怖く、自分に害をなすと感じると、防衛本能が働き殺すことも辞さなくなる。しかし、殺す度に増す"渴き"に次第に不安を持ち始めている。

